

令和6年度 第1回

安城市博物館協議会

令和6年5月21日(火)

午後1時30分～

歴史博物館・講座室

1 あいさつ

2 協議事項

(1) 令和5年度事業報告

(2) 令和6年度事業計画(案)

3 その他

(1) 今後の日程

- ・第2回 10月予定
- ・合同研修 11月予定 ※日程・場所未定。
- ・第3回 令和7年1月31日(金) 予定

(2) 観覧

安城市博物館協議会委員

(任期：令和5年4月1日～令和7年3月31日)

	氏名	選任区分	備考
会長	高山 忠士	学識経験者	
副会長	加藤 りせ子	社会教育	
委員	松永 博司	学校教育	
委員	荒井 信貴	学識経験者	
委員	市川 とし子	学識経験者	
委員	平岩 政志	公募委員	

安城市民憲章

わたくしたちは安城市民です。
わたくしたちの愛する安城を、いっそう魅力にみちた
生きがいのあるまちにするため、市民生活の心がまえとして、
この憲章を定めます。

わたくしたちは、

- *たがいに助け合い、住みよいまちをつくりましょう。
- *きまりを守り、良い習慣を育てましょう。
- *自然を愛し、きれいな水とみどりのまちをつくりましょう。
- *教養を高め、若い力を育てましょう。
- *健康で、明るく楽しい家庭をつくりましょう。

—昭和47年11月1日制定—

●安城市民憲章推進協議会●

(1) 令和5年度事業報告

ア 利用状況

(ア) 月別入館者数

月	展示観覧者						行事参加者	文献資料室 利用者	その他	延べ入館者 合計
	有料		無料		計					
	大人	計	大人	計	大人計	合計				
4	418	418	1,621	2,068	2,039	2,486	513	15	458	3,472
			447							
5	359	359	2,550	5,077	2,909	5,436	1,252	12	440	7,140
			2,527							
6	306	306	1,503	4,239	1,809	4,545	352	12	400	5,309
			2,736							
7	1,811	1,811	1,335	1,735	3,146	3,546	553	22	356	4,477
			400							
8	2,628	2,628	2,936	3,589	5,564	6,217	1,668	40	414	8,339
			653							
9	2,249	2,249	1,525	1,834	3,774	4,083	724	10	321	5,138
			309							
10	3,284	3,284	2,832	3,786	6,116	7,070	1,177	7	1,423	9,677
			954							
11	317	317	1,277	1,695	1,594	2,012	410	15	343	2,780
			418							
12	170	170	2,124	3,184	2,294	3,354	773	13	794	4,934
			1,060							
1	280	280	2,232	2,392	2,512	2,672	748	13	266	3,699
			160							
2	4,223	4,223	3,082	3,401	7,305	7,624	7,163	17	353	15,157
			319							
3	3,183	3,183	2,625	3,079	5,808	6,262	6,208	3	453	12,926
			454							
計	19,228	19,228	25,642	36,079	44,870	55,307	21,541	179	6,021	83,048
			10,437							

(イ) 利用形態別入館者数

月	企画展 観覧者	常設展 観覧者	講演会	歴博講座	体験講座	連続講座	入門講座	歴博イベント	歴博演芸場	企画展 関連イベント	文献資料室	その他	延べ利用 者合計
4	1,832	654	20	0	0	32	0	49	0	412	15	458	3,472
5	3,685	1,751	0	15	348	29	0	301	0	559	12	440	7,140
6	2,692	1,853	0	0	0	29	0	16	62	245	12	400	5,309
7	1,908	1,638	96	0	87	0	0	16	0	354	22	356	4,477
8	3,489	2,728	89	89	83	0	0	155	192	1060	40	414	8,339
9	2,364	1,719	83	0	0	0	0	7	0	634	10	321	5,138
10	4,323	2,747	79	0	0	17	0	0	115	966	7	1423	9,677
11	1,323	689	0	0	0	15	19	31	0	345	15	343	2,780
12	2,873	481	85	54	0	22	27	0	0	585	13	794	4,934
1	2,323	349	0	0	0	47	13	9	63	616	13	266	3,699
2	4,708	2,916	0	0	0	0	0	5999	0	1164	17	353	15,157
3	3,744	2,518	0	0	20	19	0	4917	267	985	3	453	12,926
計	35,264	20,043	452	158	538	210	59	11,500	699	7,925	179	6,021	83,048

その他内訳

部屋利用等	2,140人	職場体験	(延べ) 51人
安祥文化のさとまつり	895人	多目的利用	2,863人
博物館実習	(延べ) 72人		

<参考>

行事名等	4年度	5年度	行事名等	4年度	5年度
展示観覧者	60,035	55,307	歴博イベント	13,397	11,500
講演会	303	452	歴博演芸場	654	699
歴博講座	136	158	展示関連イベント	39,597	7,925
体験講座	378	538	文献資料室	201	179
連続講座	237	210	その他	6,616	6,021
入門講座	191	59	合計	121,745	83,048

(ウ) 収蔵資料貸出状況

a 資料貸出 6件 (42点)

本證寺門徒連判状 (寄託)、徳川家康黒印状 (寄託)、本證寺諸事記 (寄託)、オコシモンの型、八ツ塚古墳出土内行花文鏡、北本郷古墳出土内行花文鏡など

b 画像提供 29件 (74点)

都築弥厚肖像画、安城町「震災関係綴」、北浦遺跡種出土古瀬戸壺、七十一番歌合、綴方指導細目、七夕之本地、レート化粧品・ポスター、人物埴輪頭部など

c 資料調査・その他 13件 (125点)

愛知県碧海郡各町村統計一覧、『農政研究』日本丁抹号、『安城農報』24号、本證寺諸事記 (寄託) など

イ 収集・保管活動

(ア) 寄贈資料 23件

- ・東端町大橋家資料 近代、地券土地書類等
- ・野寺町神谷家資料 近代、家関係資料
- ・石井町石川家資料 現代、学校写真類
- ・愛知県畜産総合センター種鶏場資料 現代、アルバム・事務文書類
- ・高棚町石川家資料 山崎延吉書幅
- ・出所不明資料1 昭和初期産業の安城
- ・花ノ木町竹之内家資料 戦前戦中アルバム・雑誌類
- ・知立市 築山家資料 雑誌歴史写真
- ・古井町柴田家資料 最新 衛生兵必携 見出付
- ・竹内書店資料 近代三河万歳紀
- ・出所不明資料2 近代教科書

- ・南明治地区資料 戦中戦後配給書類等
- ・村高用水資料 村高用水惣代資料
- ・高棚町深津家資料 地券・近代手紙等
- ・安城市立高等家政学校資料 高等家政学校学籍簿等
- ・古井町杉浦家資料 近代土木関係帳簿等
- ・名誉市民等資料 現代名誉市民写真・功績調書等
- ・里町鈴木家資料 近代芝居本・地図類
- ・東端沢田家資料 昭和20～50年代総学校教科書、近代絵葉書
- ・刈谷市高橋家資料 雑誌「流芳」等
- ・碧海郡名所写真資料 近代碧海郡名所旧跡写真
- ・山本家資料 近代教科書類
- ・城ヶ入町小林家資料 近代書籍・教科書

(イ) 購入資料 6件45点

- ・村越伝記実録 5冊
- ・太閤記 10冊
- ・御上洛記 1冊
- ・御開港横浜之図 1舗
- ・河内名所図会 6冊
- ・山州名跡志 22冊

(ウ) 寄託資料

- ・新規なし

ウ 展示活動

(ア) 常設展展示替え

月 日	変更箇所	内 容
8月10日	3 西からの風 (安城の古代) ①顔のメッセージ③弥生のムラのくらし 6 村の文化 ①文人丈山の世界②俳諧・狂俳の世界	博物館実習生による展示実習
12月28日	2 山と海の幸に生きる (安城の原始) ④堀内貝塚 3 西からの風 (安城の古代) ③弥生のムラのくらし④巨大な墓の出現	堀内貝塚出土土器の展示 鹿乗川流域遺跡群出土の石鏃・銅鏃、横櫛、石包丁等の展示 北本郷古墳副葬品等の展示

(イ) 特別展・企画展

	区 分	名 称	期 間	目標値	実績値
①	企画展	安城の今昔4 はかり箱 —暮らしのなかのはかる道具—	4月8日～ 6月25日	6,900人	8,209人
②	特別展	安城譜代1 徳川の支柱酒 井氏—左衛門尉家と雅楽頭 家—	7月15日～ 8月27日	4,300人	5,397人
③	特別展	安城譜代2 三河本多一族	9月16日～ 10月29日	4,300人	6,687人
④	企画展	家康と三河の城	11月18日～ 1月14日	3,000人	6,519人
⑤	特別展	昭和の家族 —安部朱美創作人形展—	2月3日～ 3月24日	8,000人	8,452人
合 計				26,500人	35,264人
4年度					39,356人

① 企画展「安城の今昔4 はかり^{ます}—暮らしのなかのはかる道具—」

a 会 期 令和5年4月8日(土)～6月25日(日) 実開館日68日

b 観覧者数 8,209人【目標6,900人】1日平均121人

c 期間中の催し物

主なものは「エ 教育普及活動」(12ページ～)に記載

d 音声ガイドの利用状況 88人(利用率1.4%)※見学学習を除いた割合

e パンフレット 1,600部発行(無料配布)

f 展示について

(a) 展示点数90点、画像パネル27点、合計117点。

(b) 「安城の今昔」シリーズの第4弾、身近なテーマ「はかる」を題材として、市民を中心に寄贈いただいた民俗資料を中心に紹介した。

(c) 展示構成は、「はじめに」と4章の計5つのパートとした。「はじめに」では近代以降の度量衡法整備と人々への浸透の様子を篠目・高木町内会資料と安城市役所広報所有の画像から紹介した。第1～3章は長さ・容量・重さ(度量衡)に関する資料、第4章では時間・温度・地形、また担当がわからない道具などいろいろな道具を扱った。

(d) ハマイカリ山口旭薬局寄贈資料、度量衡取締条例以前の一斗杓などを紹介することができた。

(e) 展示室内では身体尺、エントランスでは桿秤・一升杓の体験コーナーがあったことで体験型展示としても楽しんでいただけた。また、1,143人の参加を得たクイズラリーも展示の理解を高める有益な企画であった。

g 観覧者について

(a) 一般観覧者6,124人、見学学習2,085人。一般観覧者の1日平均は平成30年度「安城の文化財V」、令和元年度「安城の今昔1 火消しまいる」とほぼ同数値となり、コロナ以前の状況に戻りつつある。

(b) アンケートでは男女比はほぼ半々、年代は40代が最も多く、10歳未満、50代、10代と続く。通常の特展・企画展の観覧者層である50～70代以外の幅広い年齢層に観覧いただけた。

(c) マルシェや鎧の試着会のあったGW、マンホールカードの配布、大河ドラマ効果

等、

複数の要素が重なり、観覧者数の増加に結び付いた。

② 特別展「安城譜代1 徳川の支柱酒井氏—左衛門尉家と雅楽頭家—」

a 会 期 令和5年7月15日(土)～8月27日(日) 実開館日39日

b 観覧者数 5,397人【目標4,300人】1日平均138人

c 期間中の催し物

主なものは「エ 教育普及活動」(12ページ～)に記載

d 音声ガイドの利用状況 783人 (利用率15%)

e 展示図録 1,200部発行 販売数599冊

f 展示について

(a) 展示点数134点

(b) 江戸時代の名家として認識されるようになった「安城譜代」と呼ばれる、古から松平に仕えた氏族の中で、一、二を争う活躍をした酒井氏を取り上げた。のちに徳川四天王と呼ばれた酒井忠次を輩出した左衛門尉家、江戸幕府創設した後も酒井重忠や忠勝・忠世など大老となる人物を輩出した雅楽頭家の二家に焦点を当てて展示をした。

(c) 県外調査先には数多くの資料があり、調査後に膨大な数の資料の内容を読む必要があった。いずれも他の特別展の展示準備と同時進行の中での作業だった。

(d) これまでの他館の展示は、左衛門尉家、雅楽頭家それぞれを藩祖としての側面で展示をしていたが、今回の展示では著名な酒井忠次だけではなく、その子孫や、もう一方の有力な家臣である雅楽頭家の活躍、江戸時代初期の幕政での酒井家の位置づけを示すことができた。

g 観覧者について

(a) 平日の平均は98人、土日祝日は196人の観覧者であり、目標人数を達成することができた。夏休み期間中で館内でのイベントも多く、親子連れの来館者も多く見られた。大河ドラマの影響もあり、市外で関連展示を行っている周辺施設と合わせて来館している客層が多かった。

(b) 来館者アンケート(回答数306件)の傾向によると、市外からの来館者が77%であり、男性53%、女性46%だった。展示を見に来たきっかけとして、展示のテーマが過半数を占めていた。40代～60代が多く、中でも40代が最多だった。

(c) 記念講演会について、収容人数を増やして開催したが、講演会が電話で先着順の申込みだったため、早期満了になった。

h PRについて

(a) マスコミの取材は少なかったが、SNSで借用先が話題に挙げていたり、指定管理者が大河ドラマの内容にあわせた投稿を行ったり、コラボメニューが話題になるなど、SNSをうまく活用できていた。

③ 特別展「安城譜代2 三河本多一族」

- a 会 期 令和5年9月16日(土)～10月29日(日) 実開館日40日
- b 観覧者数 6,687人【目標4,300人】1日平均167人
- c 期間中の催し物
主なものは「エ 教育普及活動」(12ページ～)に記載
- d 音声ガイドの利用状況 873人 (利用率13%)
- e 展示図録 1,200部発行 販売数612冊
- f 展示について
- (a) 展示点数128点
 - (b) さまざまな分かれのある本多家のうち、三河を拠点とした五家(中務大輔家、小川本多家、豊後守家、作左衛門家、伊奈本多家)を取り上げた。また特に豊後守家、作左衛門家、伊奈本多家に焦点をあてた展示構成とし、時代ごとに各家の事績を紹介する形とした。
 - (c) 資料調査および資料選定、借用申請事務を同時進行で進める厳しいスケジュールとなってしまうため、結果として図録の発行の遅れを招いた。
 - (d) 本多一族に関する資料は各地に分かれて伝わっているため、本展で各家の資料を一堂に集め、その概要を提示できたことは大きな意味があったと考えられる。
- g 観覧者について
- (a) 観覧者の傾向として県内(市外)からの観覧者が最も多く全体の7割を占め、年代では50代、性別では男性が多かった。また大河ドラマをきっかけに来館した方が多く、本展が高い関心を寄せられていたことが推察される。
 - (b) 記念講演会については本展より申込方法を変更し、電話申し込みによる先着順からあいち電子システムおよび往復はがきによる事前申込制とした。申込時の聞き間違い防止など利点もあった一方、事務手続の増加や無断欠席に対する対策など今後の検討課題も明らかとなった。
 - (d) 音声ガイドについては観覧者全体の13%が利用し、戦国期を取り上げた展覧会の中では平均的な利用率となった。
- h PRについて
- (a) メディアの取材については中日新聞とKATCH、Pitch FMの3件のみに留まり、大河ドラマの放送中にも関わらず少ない印象だった。

④ 企画展「家康と三河の城」

a 会期 令和5年11月18日（土）～令和6年1月14日（日） 実開館日44日

b 観覧者数 6,519人【目標3,000人】 1日平均148人

c 期間中の催し物
主なものは「エ 教育普及活動」（12ページ～）に記載

d 音声ガイドの利用状況 249人（一般観覧者利用率3.8%）

e パンフレット 1,600部発行（無料配布）

f 展示について

(a) 展示点数431点（考古資料413点、文書史料18点）

(b) 今回の展示では、三河の城と徳川家康の半生を絡めた内容とした。その上で安城市域の城も紹介できるよう、安城松平家等も対象として展示を構成した。4章立てとして、第1章は家康以前の城と集落、第2章は家康誕生から三河平定、第3章は武田氏・秀吉との対峙、第4章は家康関東移封後の三河とした。

(c) 企画展という性質上、安城市に関わるものを展示の中心に据えたが、周辺市の協力を得られ、三河の主要な城の考古資料についても展示することができた。

(d) 城の構造、遺物に関する解説を適宜入れることで、難解な用語を理解する一助とした。音声ガイドについても解説パネルよりわかりやすい表現に努めた。

(e) 展示解説は3回（11月26日15人、12月24日15人、1月13日26人）実施し、観覧者の理解及び満足度を高められるよう努めた。

g 観覧者について

(a) 観覧者は見学学習（238人、引率10人）を除くと大人5,480人、小人791人であった。なお、見学学習以外にも安城南部小学校5・6年生に校外学習（183人、引率8人）で見学いただいた。

(b) アンケート結果から、市内30%、市外59%、県外11%であった。男性の比率がやや高く、年齢層は50代、60代、70代の順に多かった。一方、次に40代、10代、10代未満と続いたように、冬休み期間などに親子連れも多く来館していただいた。展示満足度も「非常に満足」「満足」が88%とおおむね好評をいただけた。

(c) 1月13日JRさわやかウォーキングには905人（当日観覧者数1,209人）の参加を得るなど、大河ドラマ効果等外部要因も働き、目標人数を達成することができた。

h PRについて

(a) メディアの取材は中日新聞、KATCH、Pitch FMのほか、放送されなかったものの東海テレビの取材があった。

⑤ 特別展「昭和の家族—安部朱美創作人形展—」

a 会 期 令和6年2月3日（土）～3月24日（日） 実開催日数45日

b 観覧者数 8,452人【目標8,000人】1日平均188人

c 期間中の催し物

主なものは「エ 教育普及活動」（12ページ～）に記載

d 音声ガイドの利用状況 584人（利用率7%）

e 展示について

(a) 展示点数66点

(b) 昭和の家族をテーマに昭和のなつかしい情景や、家族・地域との絆を安部朱美氏の人形で紹介する展示であった。また、昭和30年代の安城市の様子を写した写真を紹介したことによって昭和を身近に感じることができる展示となった。

(c) 展示作業は基本的には、安部氏ご夫妻が中心に行ったため、展示台の準備や調整、パネル貼りを本館で実施した。作業は順調に進めることができた。

f 観覧者について

(a) 観覧者目標人数8,000人に対し、結果8,452人で目標値の約105%の達成率となった。会期半ばに観覧者数が伸び悩む時期もあったが、平日平均も148人であり、100人を超えることができた。

(b) 指定管理者が企画した昭和生まれの方の観覧料を半額にする昭和割引の日（2/11、2/12、2/23、3/20）には300人を超える観覧者があった。

(c) 観覧者アンケート結果（回答数345件）から観覧者の動向を見ると、安城市域の方が約26%であり、県内市外の方が69%、県外からも5%の来館者であった。音声ガイド機利用者数の統計（合計584人）から、県内市外の内訳としては岡崎市・豊田市・刈谷市などの西三河からの来館者が最も多い傾向が見える。安城市内に次いで名古屋市からも来館していることから中日新聞社の広報の影響と考えられる。

(d) 指定管理者がエントランスで実施していた「歴博福寄せ雛」の人气も高く合わせて観覧する方も多くいた。また、2月中は市民ギャラリーの特別展「大正イマジユリィの世界」とも時代が近く相乗効果があった。

g PRについて

(a) テレビ1社・ラジオ・雑誌などで取り上げられたため来館者増につながった。ポスター・チラシ等印刷物で展示について知ったというアンケートが多く、中日新聞社との共催のためチラシ・ポスターを名古屋市等広域に配布できたことも影響したと考えられる。

(b) 指定管理者がギャラリーの特別展とのセット企画を実施した。どちらも観覧していただくこともできて効果があったと感じた。

エ 教育普及活動

(ア) 講演会・講座

a 展覧会記念講演会・シンポジウム

開催日	演題	講師	聴講者数
4月23日	はかる道具と昔の暮らし	岡本大三郎氏 (東海民具学会会長)	20
7月22日	初代忠次と酒井左衛門尉家の行く末	菅原義勝氏 (致道博物館学芸員)	96
8月20日	松平・徳川氏重臣酒井雅楽頭政家	平野明夫氏 (國學院大學講師)	89
9月30日	本多中務大輔家の本家と分家について	堀江登志実氏 (岡崎市文化財保護審議会委員)	83
10月21日	越前のふたつの本多家 —福井藩家老・丸岡藩主—	角明浩氏 (坂井市龍翔博物館学芸員)	79
12月3日	発掘調査からみた家康と三河の城・中世集落	鈴木正貴氏 (愛知県埋蔵文化財センター調査課長)	85

合計 452 人

第13回松平シンポジウム

会場：へきしんギャラクシープラザ 午後1時 資料代500円

開催日	演題	講師	聴講者数
10月15日	秀吉家康入魂 —徳川家康と豊臣政権—	コーディネーター 播磨良紀氏 (中京大学名誉教授) パネリスト 山本浩樹氏 (龍谷大学教授) 谷口央氏 (東京都立大学教授)	(156)

(合計 156 人)

b 歴博講座・入門講座・連続講座

(a) 歴博講座

会場：講座室 午後2時 聴講無料

開催日	演題	講師	聴講者数
5月21日	『はかる』の歴史	西島庸介 (本館学芸員)	15
8月12日	酒井二家の相違	三島一信 (本館学芸員)	89
12月16日	安城市域の中世城館	西島庸介 (本館学芸員)	54

合計 158 人

(b) 入門講座

はじめの一步！安城の歴史

会場：講座室 午前10時 資料代500円

開催日	演題	講師	聴講者数
11月12日	人面文壺形土器からのメッセージ	片岡晃（本館前館長）	10
11月26日	安城松平家と安城城をめぐる戦い		9
12月10日	三河の真宗と本證寺		15
12月24日	明治用水と日本デンマーク		12
1月14日	日本デンマークその後		13

合計 59 人

(c) 連続講座

①「村絵図で巡る安城今むかし」

会場：講座室 午後1時30分 資料代1,500円

開催日	演題	講師	聴講者数
4月8日	箕輪村	高山忠士氏（本館元館長）	16
4月22日	福釜村1		16
5月13日	福釜村2		13
5月27日	堀内村		16
6月3日	小川村1		15
6月10日	小川村2		14

小計 90 人

②「安城歴博・中京大学連携講座」

会場：講座室 午後2時 資料代200円（各回）

開催日	演題	講師	聴講者数
10月28日	椿井文書—日本最大級の偽文書	馬部隆弘氏 （歴史文化学科教授）	17
11月25日	「三河守藤原朝臣顕長」在銘の壺をめぐる	西村健太郎氏 （先端共同研究機構文化科学研究センター特任研究員）	15
12月23日	初代尾張藩主徳川義直の思想像の変遷	小川和也氏 （歴史文化学科教授）	22
1月27日	徳川家康の遺命と付家老	白根孝胤氏 （歴史文化学科教授）	47
3月16日	西郷隆盛像の変遷—錦絵・銅像・肖像にみる西郷どん—	中元崇智氏 （歴史文化学科教授）	19

小計 120 人

合計 210 人

(イ) 展示関連イベント

開催日	タイトル	関連展示	実施日	参加人数
4月8日～ 6月25日	測って量って計り ^{ます} クイズラリー	企画展「はかり ^{ます} 」	68日間	1,143
4月29日	走る！跳ぶ！体力をはかり ^{ます}	同上	1日間	57
6月10日	最新の測量機器をつかっはかり ^{ます}	同上	1日間	16
7月15日～ 8月27日	家紋のステンシルで小物づくり体験	特別展「徳川の 支柱 酒井氏」	39日間	330
7月15日～ 8月27日	クイズラリー酒井家の名宝を探せ！	同上	39日間	309
7月15日～ 8月27日	安城譜代1 徳川の支柱 酒井氏 フォトスポット	同上	39日間	759
8月25日	ナイトミュージアム 「安城譜代1 徳川の支柱 酒井氏」 展示解説	同上	1日間	16
9月16日～ 10月29日	家紋のステンシルで小物づくり体験	特別展「三河本多 一族」	40日間	400
9月16日～ 10月29日	安祥譜代2 三河本多一族 フォトスポット	同上	40日間	751
9月16日～ 10月29日	謎解きクイズラリー 「智将・本多正信にチャレンジ！」	同上	40日間	400
9月23日	講話「鷹をとおして知ったこと ～鷹狩りの歴史と文化～」	同上	1日間	29
10月22日	本多忠勝の父祖・安城合戦をめぐる ウォーキング	同上	1日間	20
11月18日～ 12月24日	あんじょう家康ガイドと巡る安城城 クイズラリー（土・日・祝日のみ）	企画展「家康と三 河の城」	13日間	378
11月18日～ 1月14日	家康と三河の城クイズ	同上	44日間	406
11月18日～ 1月14日	家康と三河の城 フォトスポット	同上	44日間	724
11月19日	Doする家康安城城フォトウォークラ リー	同上	1日間	28
12月2日	切り絵の御城印づくり	同上	1日間	10

2月3日～ 3月24日	昭和の遊び体験	特別展「昭和の家族-安部朱美創作人形展-」	45日間	900
2月3日～ 3月24日	昭和の家族 フォトスポット	同上	45日間	948
2月3日、 3月24日	安部朱美ギャラリートーク	同上	2日間	103
2月3日、 3月24日	安部朱美サイン会	同上	2日間	62
2月10日	和菓子職人に教わる季節の和菓子づくり	同上	1日間	20
2月17日、 2月24日、 3月17日、 3月24日	昭和の遊び体験 外遊びDAY	同上	3日間 (3月24日雨天中止)	116

合計 7,925 人

(ウ) 体験講座

開催日	演題	講師	参加人数
5月3日～ 5月5日	鎧の試着会	指定管理者、博物館ボランティア	308
5月14日	1日子ども学芸員体験会①「博物館で安城の歴史を学ぼう」	文化振興課職員 協力：一般社団法人安城青年会議所	20
5月21日	1日子ども学芸員体験会②「博物館常設展で来館者に説明しよう」	文化振興課職員 協力：一般社団法人安城青年会議所	20
7月16日	『酒井の太鼓』伝説に挑戦～和太鼓を体験してみよう～	安城太鼓会ほだら	38
7月28日～ 7月30日	夏休み自由研究相談会	文化振興課職員	49
8月5日	オリジナル風鈴づくり	指定管理者	41
8月26日	『酒井の太鼓』伝説に挑戦～和太鼓を体験してみよう～	安城太鼓会ほだら	42
3月2日	三河の伝統食 箱ずしを作ろう	杉浦ひろ子氏 (安城エプロン会)	20

合計 538 人

(エ) 歴博演芸場

会場：石舞台・講座室 鑑賞無料

開催日	演題	講師	参加人数
6月24日	唱歌コンサート	安城学園高校合唱部	62
8月26日	安城太鼓会ほだら 和太鼓演奏	安城太鼓会ほだら	雨天中止
8月27日	グレート家康公「葵」武将隊 グレート演武	グレート家康公「葵」 武将隊	192
10月8日	安祥文化のさとまつり 和太鼓競演	安城太鼓会ほだら 他	115
1月7日	三河万歳 「新春招福の初舞」	安城の三河万歳保存会	63
3月9日	和モノフェス 和太鼓競演	安祥太鼓	90
3月9日	和モノフェス 殺陣ショー&殺陣の ワークショップ	楠見彰太郎氏 暮らしの 学校安城アンフォーレ 校・岡崎校、知立カル チャー座☆風流堂岡崎演 劇塾	132
3月9日	和モノフェス 唱歌コンサート	安城学園高校 合唱部	45

合計 699 人

(オ) 歴博イベント

開催日	タイトル	参加人数
4月1日～4月7日	歴史博物館クイズラリー①	12
4月8日	農家ではたらくクルマ写生大会&写真撮影会	37
5月14日～5月21日	マインクラフトで理想の安城市歴史博物館を作ろう! 来館者投票	166
5月21日	1日子ども学芸員体験会 常設展ガイド参加人数	94
5月28日～6月25日	西尾町内会春祭りくじ引きガチャ	55

6月27日～7月14日	歴史博物館クイズラリー②	18
8月26日～8月27日	ナイトミュージアム「博物館ナイトツアー」	98
8月27日	ナイトミュージアム「土器ドキ晩ゴハン」	49
※8月25日～8月26日	ナイトミュージアム「マイブנקエスト」	(66)
8月29日～9月15日	歴史博物館クイズラリー③	15
10月31日～11月17日	歴史博物館クイズラリー④	31
1月16日～2月2日	歴史博物館クイズラリー⑤	9
2月3日～3月24日	歴博福よせ雛	10,903
3月26日～3月31日	歴史博物館クイズラリー⑥	13

※マイブנקエストは埋蔵文化財センターで開催

合計 11,500 人

(カ) 指定管理 刊行物

a 特別展・企画展図録 (パンフレット)

企画展「安城の今昔4 はかり^{ます}箱-暮らしのなかのはかる道具-」

A4 8頁 1,600部

特別展「安城譜代1 徳川の支柱酒井氏-左衛門尉家と雅楽頭家-」

A4 80頁 1,200部

特別展「安城譜代2 三河本多一族」

A4 76頁 1,200部

企画展「家康と三河の城」

A4 8頁 1,600部

b 安城歴史研究第49号

B5 37頁 250部

c 年報32号

A4 55頁 350部

d 「れきしみち」

全て

A4 8頁 2,500部

No.129 7月号、No.130 10月号、No.131 1月号、No.132 4月号

e 催し物案内

2023年度下半期 10月～3月

87,500部

2024年度上半期 4月～9月

87,700部

(キ) 見学学習

a 市内小学校（企画・特別展、常設展、埋文セ）見学

月日	曜	学校名	学年	人数	月日	曜	学校名	学年	人数		
5	17	水	安城東部小	6	80	6	16	金	三河安城小	6	94
5	19	金	二本木小	6	122	6	20	火	梨の里小	6	77
5	23	火	明和小	6	48	6	23	金	安城南部小	6	96
5	25	木	安城西部小	6	89	6	27	火	今池小	6	68
5	31	水	安城北部小	6	130	6	28	水	高棚小	6	42
6	2	金	桜林小	6	95	6	30	金	作野小	6	99
6	6	火	桜井小	6	141	7	4	火	桜町小	6	98
6	7	水	志貴小	6	25	10	5	木	新田小	6	71
6	8	木	祥南小	6	49	11	1	水	丈山小	6	94
6	9	金	錦町小	6	100	11	16	木	安城中部小	6	81
6	13	火	里町小	6	81						
										小学校児童数計	1,780人
										4年度	1,853人

b 市内中学校（企画・特別展、常設展、埋文セ）見学

月日	曜	学校名	学年	人数	月日	曜	学校名	学年	人数		
5	24	水	安城西中	2	260	6	29	木	安祥中	2	152
5	26	金	東山中	2	233	10	18	水	明祥中	2	126
6	1	木	安城北中	2	272	12	1	金	桜井中	2	238
										中学校生徒数計	1,281人
										4年度	1,079人

c 市外小中学校（児童・生徒）（企画・特別展、常設展、埋文セ）見学

月日	曜	学校名	学年	人数	月日	曜	学校名	学年	人数		
		なし									
										市外小中学校児童生徒数計	0
										4年度	145人

(ク) 中高生の職場体験

a 市内中学校2年生

学校名	収蔵庫 見学	土器 洗い	土器 作り	受付 補助	見学学 習補助	事務 作業	インタ ビュー	その他	備考	
篠目中	○	○	○	○	○	○	○	○	4日間・3人	
桜井中	○	○	○	○	○	○	○	○	4日間・1人	
安祥中	○	○	○	○	○	○			4日間・4人	
明祥中	○	○	○	○	○	○			4日間・1人	
									参加生徒数計	9人
									4年度	10人

b 高等学校

学 校 名	収蔵庫 見 学	土器 洗 い	土器 作 り	受付 補 助	常設展 説 明	事務 作 業	インタ ビュウ	その他	備 考
安 城 高	○	○			○	○	○	○	2日間・2人
		○				○	○	○	1日間・1人
知 立 東 高	○	○					○	○	1日間・3人
参加生徒数 計									6人
4年度									0人

(ケ) 博物館実習

博物館学芸員養成講座を持つ大学からの要請により実習を行った。

期 間：8月2日（水）～4日（金）、8日（火）～10日（木）（6日間）

実習生 愛知県立大学 1人、愛知大学2人、岐阜大学1人、静岡大学1人

静岡文化芸術大学1人、中京大学3人、名古屋芸術大学1人

三重大学2人

計12人

実習日程

開催日	午 前	午 後
8月2日	文化振興課の役割（講義） 芸術文化行政（講義）・市民ギャラリー 見学 博物館見学	文化財保護行政（講義）・埋文セン ター見学 博物館と学校教育（講義） 博物館業務（講義）
8月3日	企画展示の流れ（講義） 考古資料の取り扱い	考古資料の取扱い 常設展示室の展示替え
8月4日	常設展示室の展示替え	地域博物館の役割（講義） 美術資料の取り扱い
8月8日	歴史史料の取扱い	歴史史料の取扱い 常設展示室の展示替え
8月9日	民俗資料の取り扱い	常設展示室の展示替え
8月10日	常設展示室の展示替え	展示替えプレゼンテーション 常設展示替え

(コ) 出前授業等

月 日	演題	対象	講師	参加人数
4月14日	安城松平	SC23	本部	28
5月25日	どうなる家康—家康と三河—	西部公民館高齢者教室	三島	57
6月8日	「どうする家康」を楽しむ— 家康と安城の関わり—	西部公民館高齢者教室	野上	28
6月8日	企画展「安城の今昔4はかり ☑」	安祥公民館	西島	31
6月22日	企画展「安城の今昔4はかり ☑」	安祥公民館	西島	22

9月7日	日本デンマークと安城の発展	コープ野村芙蓉会	片岡	29
10月5日	徳川家康と安城一家康の源流 安城松平家一	東部公民館	野上	33
10月12日	徳川家康と安城一家康の源流 安城松平家一	東部公民館	野上	39
10月13日	三河一向一揆	宝林寺	野上	31
10月20日	安城松平	中部公民館高齢者教室	本部	58
10月26日	日本デンマークと安城の発展	今村楽寿会連合会	館長	35
11月11日	徳川家康と安城一家康の源流 安城松平家一	西三河高校および特別 養護学校教員	野上	22
11月17日	安城松平	城山町内会 双葉会	野上	32
11月19日	安城松平	新田公民館	野上	39
			合 計	484
			4年度：1,224	

オ 地域連携活動

(ア) 博物館ボランティア

開催日	活動内容	ボランティアガイド延人数	参加人数
6月7日～ 令和6年3月31日 (延9日)	一般向け常設展示解説	21	195

(イ) 学校教育活動への支援

小学年3年生の「昔の道具」学習などに対し、体験用民具資料を貸出。(1件)

貸出期間	貸出資料	貸出先	点数
11月8日～22日	綿繰機	桜林小学校	1

(ウ) 指定管理事業

a 町内会、各種団体および学校と連携した各種事業を開催した。

(a) 西尾町内会の春祭りにPRブースを出展

5月28日(日)に開催された西尾町内会春祭りの会場にブース出展し、博物館に関する認知度調査、展示チラシの配布、缶バッジづくりを実施。博物館に缶バッジを持参された方に景品を進呈して来館を促した。

(b) 近隣町内会にさとまつりへの協力依頼

東尾町内会、西尾町内会、古井町内会に、さとまつり運営の協力依頼を実施。当日は総合受付内においてクイズラリーの景品引き換え作業を依頼した。また、東尾町内会ではこのさとまつり開催に合わせて、東尾八幡社で限定御朱印頒布も実施された。

(c) 東尾八幡社運営委員会主催の竹あかりイベントへの協力

8月26日(土)・27日(日)の2日間、東尾八幡社運営委員会が主催となり開催された「灯籠と竹あかりの夕べ」について、ナイトミュージアムのチラシに告知を掲載し、安祥城址公園の一画にも灯籠を協働で設置することで、双方のイベントにおける賑わいの創出を図った。

(d) 近隣商店街との広報連携

日の出町商店街と、朝日町商店街の振興組合に対して、商店街内の店舗に対して展覧会チラシ配布やポスター掲出といった広報協力を依頼した。

(e) 市内カルチャースクールの講座生によるイベントの開催

市内カルチャースクールに対して、同スクールで開講されている殺陣講座の講師とその受講生によるステージ公演を依頼。3月に開催された和モノフェスで安城の歴史にちなんだ剣劇の公演と観覧者を交えた簡単な殺陣講座を開催した。

(f) 博物館周辺の史跡を巡るウォーキングイベントの開催

特別展「安城譜代2 三河本多一族」の関連イベントとして、博物館周辺にある、三河本多一族、および安城城と安城合戦に関連する史跡を巡る「本多忠勝の父祖・安城合戦をめぐるウォーキング」を開催した。各史跡では市職員の協力を得て、博物館学芸員による解説も実施した。

(g) 安城青年会議所と協働で次世代育成事業を開催

安城青年会議所と協働で市内の小学生を対象として、「1日子ども学芸員体験会」「マインクラフトで理想の安城市歴史博物館を作ろう！」を開催した。

(h) 市内高校合唱部による公演を開催

6月のマルシェ開催時と、3月の和モノフェスにおいて、安城学園高校の合唱部による唱歌コンサートを開催した。

カ 指定管理者によるその他事業

(ア) PR・広報等

a HPアクセス数

年度	総数	1ヵ月あたり	1日あたり
平成28	63,695件	5,308件	174件
平成29	44,571件	3,714件	122件
平成30	44,796件	3,733件	124件
令和元	44,156件	3,679件	120件
令和2	74,051件	6,171件	205件
令和3	189,054件	15,754件	518件
令和4	92,414件	7,701件	253件
令和5	119,321件	9,943件	331件

b SNSの更新 ※末尾()内の数字は令和4年度実績

(a) Facebook (フェイスブック) 投稿数132回 (191)

(b) Twitter (ツイッター) 431ツイート (411)

(c) Instagram (インスタグラム) 投稿数184回 (287)

※安城市民ギャラリー、安祥城址公園の投稿も含む

(d) SNS広告

・特別展「徳川の支柱 酒井氏」 Instagram・Facebook 広告

(7月14日～7月18日) 4日分

(7月20日～7月23日) 3日分

(7月28日～7月30日) 3日分
(8月12日～8月16日) 4日分
(8月23日～8月26日) 3日分

・特別展「三河本多一族」Instagram・Facebook 広告

(9月15日～9月20日) 5日分
(9月23日～9月25日) 3日分
(9月29日～10月1日) 3日分
(10月20日～10月22日) 2日分
(10月26日～10月29日) 3日分

c 新聞等でのPR ※末尾()内の数字は令和4年度実績

(a) 広告掲載 21回 (16)

- ・企画展「はかり図ー暮らしのなかのはかる道具ー」
Nagoya art news No190 4月 - 5月
Nagoya art news No191 6月 - 7月
- ・特別展「安城譜代1 徳川の支柱 酒井氏ー左衛門尉家と雅楽頭家ー」
Nagoya art news No192 8月 - 9月
中日新聞朝刊 全面広告「中部新時代2023 魅力、再発見！西三河のたからもの」
5月18日掲載
中日新聞朝刊 西三河版「おすすめ おしらせ おたのしみ」 7月4日掲載
中日新聞朝刊 全三河版「夏の芸術特集」(開催社告) 7月14日掲載
中日新聞朝刊 社会面広告 7月20日掲載
中日新聞朝刊 西三河版 連載記事上 8月3日掲載
中日新聞朝刊 西三河版 連載記事下 8月4日掲載
中日新聞 愛知県内版 8月10日掲載
- ・特別展「安城譜代2 三河本多一族」
Nagoya art news No193 10月 - 11月
中日新聞朝刊 市民版「おすすめ おしらせ おたのしみ」(開催社告)
9月5日掲載
中日新聞 朝刊 西三河版 連載記事上 10月6日掲載
中日新聞 朝刊 西三河版 連載記事下 10月7日掲載
- ・企画展「家康と三河の城」
Nagoya art news No194 12月 - 1月
- ・特別展「昭和の家族ー安部朱美創作人形展ー」
Nagoya art news No195 2月 - 3月
中日新聞 「広告」三社告 1月29日掲載
中日新聞 広告 三県社告 1月30日掲載
中日新聞朝刊 「広告」2月7日掲載
中日新聞 「作品解説(上)」東西三河版 2月15日掲載
中日新聞 「作品解説(下)」東西三河版 2月16日掲載

(b) 新聞等掲載(報道機関発表、掲載依頼) 60回 (65)

- ・企画展「はかり図ー暮らしのなかのはかる道具ー」
朝日新聞(夕刊) 4月11日掲載
Pitch FM「Happyマーケット」まちかどリポート 4月12日放送
中日新聞朝刊 西三河版 4月13日掲載

- 情報誌みどり 春号 4月号掲載
 PitchFM「まちのまど」 5月11日放送
 KATCH「KATCH TIME30」 5月11日放映
 読売新聞夕刊 エンジョイ 5月18日放送
 東海テレビ ニュース ONE 5月30日放送
- ・特別展「安城譜代1 徳川の支柱 酒井氏—左衛門尉家と雅楽頭家—」
 安城ホームニュース 6月9日掲載
 ハピナビあおみ 6月9日掲載
 中日新聞 MIKAWA タウン情報 6月25日掲載
 大河ドラマ館でのPRブースで展示告知活動
 6月4日、7月15日、7月17日、8月19日
 毎日新聞朝刊「ぐるっと東海」 7月15日掲載
 中日新聞朝刊 県内版「特別展開催」 7月15日掲載
 - ・特別展「安城譜代2 三河本多一族」
 安城ホームニュース 9月8日掲載
 中日新聞朝刊 愛知総合版 9月16日掲載
 第6回とよはしシンポジウムでのPRブースで展示告知活動 9月23日
 情報誌みどり秋号 10月号掲載
 中日新聞朝刊 社会面 広告（半二段広告） 9月25日掲載
 中日新聞夕刊 文化・芸能面 会場取材記事 9月30日掲載
 にしお城まつり in 西尾城でのPRブースで展示告知活動 10月1日
 PitchFM「まちのまど」 10月4日放送
 大関ヶ原祭でのPRブースで展示告知活動 10月15日、10月16日
 PitchFM「まちかどりレポート」 10月5日放送
 KATCH「KATCH TIME30」 10月12日放送
 市役所デジタルサイネージ 9月11日～10月27日
 アンフォーレ館内電子案内板 9月16日～10月16日
 - ・企画展「家康と三河の城」
 大河ドラマ館でのPRブースで展示告知活動 11月4日、11月5日
 安城ホームニュース 12月8日掲載
 ららぽーとみなとアクルスでのPRブースで展示告知活動 11月11日
 PitchFM「まちのまど」 11月23日放送
 大河ドラマ館でのPRブースで展示告知活動 12月10日
 中日新聞朝刊 三河版 12月16日掲載
 KATCH「KATCH TIME30」 12月14日放送
 PitchFM「ハッピーマーケット」 12月27日放送
 福利厚生倶楽部「会員特典」 11月号掲載
 東海Walker2024冬イベントカレンダー
 名鉄の電車沿線ハイキングで展示告知活動 1月7日、1月8日
 - ・特別展「昭和の家族—安部朱美創作人形展—」
 中日新聞HP、中日プラス「展覧会告知」1月～
 安城ホームニュース 1月26日掲載
 PitchFM「まちのまど」 2月1日放送
 月刊なごや 「街のミニ情報」 2月1日掲載
 中日新聞朝刊 「開催記事」 県内版 2月3日掲載
 毎日新聞 名古屋支局 2月3日掲載
 中日新聞朝刊 西三河版「福よせ雑」 2月6日掲載
 安城ホームニュース 2月9日掲載
 信濃毎日新聞 「週刊ガイド」 2月18日掲載
 安城ホームニュース 「福よせ雑」 2月23日掲載

KATCH「KATCH TIME30」 2月29日放送
PitchFM「ハッピーマーケット」 3月6日放送
東海テレビ「昼前のニュース（東海）」 3月17日放送

その他

安城ホームニュース「まちかどニュース」「安祥文化のさとまつり」 9月22日掲載
中日新聞 西三河版「安祥文化のさとまつり」 10月8日掲載
安城ホームニュース「和モノフェス」 9月22日掲載

(c) 新聞折り込みチラシ 3回 (3)

d その他

- (a) 企画展・特別展ともに関連する県内外の施設や大学・専門学校に、展覧会チラシを送付して広報をおこなった。
- (b) 企画展・特別展に合わせてプレスリリースを制作し、テレビ局・新聞社等に情報発信を実施した。
- (c) 「ぷらす珈琲店」では特別展・企画展の内容にちなんだコラボメニュー（フード・ドリンク・デザート）を提供。食の観点から展示を盛りあげる事業として令和5年度のすべての特別展・企画展で実施した。
- (d) 特別展開催時には、安城市内の呉服店にチラシ・ポスター設置を依頼するとともに、和装の観覧者を対象とした割引を実施した。
- (e) 安城譜代を取り上げた特別展では、岡崎市の大河ドラマ館と観覧料の相互割引を実施した。
- (f) 6月から12月にかけて7回にわたり、岡崎の大河ドラマ館に安城市として市職員とともにブース出展をおこない安城城御城印を販売するとともに、同期間開催されていた特別展のチラシを配布してPRを実施した。また、10月14日、15日に岐阜県で開催された「大関ヶ原祭」、11月11日にららぽーとみなとアクルスで開催された「尾張・三河うまいものまつり」、3月2日、3日に開催された「にっぽん城まつり」においても市職員とともにブース出展をおこない、施設PRとともにオリジナルグッズの販売等を実施した。
- (g) 特別展「安城譜代1 酒井氏」「安城譜代2 三河本多一族」では展覧会特設サイトを開設した。
- (h) 福利厚生倶楽部中部の会報誌に企画展「家康と三河の城」の展覧会情報を掲載した。
- (i) 1月7日・8日に開催された名鉄の電車沿線ハイキングでスタート地点となった新安城駅において、企画展「家康と三河の城」の案内チラシを配布して企画展観覧を呼びかけた。
- (j) 1月13日に開催されたJR東海ウォーキングコースでは、2年続けての立ち寄り施設となった。ウォーキング参加者に対して、企画展の観覧で特典を進呈するという施策を実施して集客を図った。
- (k) 特別展「昭和の家族」では、県内のアートギャラリー100カ所にポストカードを送付し、ポストカード持参者に対して観覧料100円割引とすることで、新たな観覧者層の獲得を図った。

(1) 特別展「昭和の家族」において、「#昭和の家族」をつけてSNSに投稿した観覧者には粗品を進呈することで、SNSでの情報拡散を図った。

(m) 特別展「昭和の家族」会期中に、市民ギャラリーで開催された特別展「大正イマジユリィの世界」と合わせて2つの展覧会を観覧した方を対象に、ミュージアムショップ100円割引券を進呈することで、博物館とギャラリーとで連動した集客施策を実施した。

(イ) 安祥文化のさと会員

5年度会員数 261名（4年度：254名）

内容：会費 500円

入会特典

情報誌「れきしみち」・展覧会チラシ等を発送

会員証提示で年間を通じて常設展観覧料が無料

会員証提示で博物館の有料展示観覧料が2割引

ぷらす珈琲店のお食事・ドリンク 500円分割引

会員限定「さとスタンプラリー」でスタンプ数に応じた景品をプレゼント

(ウ) JAF会員優待サービス

5年度利用者 1,004人（4年度：802人）

JAF会員証提示で常設展2割引

JAFのホームページに施設案内が掲載される

(エ) 福利厚生倶楽部会員優待サービスを令和5年9月よりスタート

5年度利用者 11人

福利厚生倶楽部会員証提示で常設展2割引

福利厚生倶楽部のホームページに施設案内が掲載される

(オ) ミュージアムショップ

特別展・企画展にあわせて、関連する書籍や小物等を選定して販売をおこなった。また展示内容にあわせ、ガチャガチャの内容を検討したり、安城松平四代オリジナルキャラクターの缶バッジを新たな商品としてガチャガチャで販売した。

大河ドラマ「どうする家康」にあわせて、徳川家康や家康家臣団、戦国武将系のグッズを取り揃え、大河ドラマにちなんだ特設コーナーを設置した。

(オ) 公園事業

開催日	事業名	参加人数
4月15日	さとのマルシェ	雨天中止
5月6日	さとのマルシェ	359
6月24日	さとのマルシェ	598
7月22日	さとのマルシェ	367

8月26日	さとのマルシェ	516
8月27日	さとのマルシェ	653
9月18日	さとのマルシェ（4月15日の代替）	301
10月7日	さとのマルシェ	698
10月8日	さとのマルシェ	407
11月18日	さとのマルシェ	261
3月9日	さとのマルシェ	486

合計 4,646 人

キ その他

（ア） あいちスキ旅キャンペーン

愛知県が推進する「休み方改革」プロジェクトの一環である「あいちスキ旅キャンペーン」に参画。歴史博物館では、対象期間の平日に来館すると、ぷらす珈琲店のランチ 100 円割引の特典を受けられるというキャンペーンを実施した。

（イ） 県民の日学校ホリデー

愛知県が推進する「休み方改革」プロジェクトの一環である「県民の日学校ホリデー」では、歴史博物館常設展示を観覧無料にし、展示を観覧いただいた小中学生には、歴博オリジナル缶バッジを進呈した。

（ウ） 公民館・福祉センターと連携

安祥公民館まつり、安祥福祉センターまつりにあわせて、3館を巡るスタンプラリーを実施した。

（エ） 御城印を制作

安城松平家の武将キャラクターをあしらった新たな安城城御城印を制作して販売した。

(2) 令和6年度事業計画案

ア 今年度の方針（重点努力目標）

- (ア) 引き続き収蔵庫の整理を進め、収蔵品の把握に努めるとともに、次年度には収蔵品展が行えるようにする。
- (イ) 特別展・企画展は、観覧者の目線を意識した展示に努める。展示意図を明確にし、一般の人にわかりやすい解説にする。
- (ウ) 常設展示室の展示替えを体系的に実施する。
- (エ) 調査研究を進めるとともにその成果として研究紀要発刊のための原稿作成をする。
- (オ) 指定管理者のノウハウを活かして、集客を促す広報PR展開を実施する。
- (カ) 安祥文化のさとまつり・ナイトミュージアムの開催による施設PRを充実する。
- (キ) ミュージアムショップは、展覧会の企画と連動したグッズを展開し、更なる充実を図る。

イ 収集・保管活動

収蔵品整理 3,200 点を目標に進める。

ウ 展示活動

(ア) 常設展

展示替えの実施

第3章 西からの風（顔のメッセージ）、第6章 村の文化（文人 石川丈山の世界）、その他随時。

(イ) 特別展・企画展

a 令和6年度

種別	名 称	期 間	目標値 (人)
企画展	安城の今昔5 はたらく道具たち —職人の仕事道具—	4月13日～6月30日	7,000
特別展	ごろごろまるまるネコづくし	7月13日～9月8日	9,000
特別展	国絵図の世界	9月28日～11月10日	3,800
特別展	大災害（仮題）	11月30日～1月19日	3,800
企画展	収蔵品展 - 節句 - （仮題）	2月8日～3月23日	3,000
合 計			26,600

b 参考 令和7年度 予定

種別	テーマ（仮題）	期間	備考
企画展	日本デンマーク	4月～6月	収蔵品展
特別展	終戦80年	7月～9月	
特別展	妖怪	9月～11月	企画協力
特別展	三河三白山	11月～1月	
企画展	近世の村のくらし	2月～3月	収蔵品展

エ 教育普及活動

(ア) 講演会・講座・シンポジウム

- a 特別展・企画展の記念講演会
- b 連続講座「村絵図で巡る安城今むかし」(全6回)
- c 連続講座(下半期は計画中)
- d 入門講座(下半期は計画中)
- e 松平シンポジウム

(イ) 展示関連イベント

- a ミニ鯉のぼり染め体験
- b 豆たたみづくり体験
- c 猫のステンシルで小物づくり体験&猫のうちわづくり体験
- d まるごと猫づくしクイズラリー
- e 落語会—ごろごろまるまる猫噺—
- f 猫の回り灯籠づくり
(下半期は計画中)

(ウ) 夏休み事業

- a 自由研究相談会
- b ナイトミュージアム
- c オリジナル風鈴づくり

(エ) 歴博演芸場・ミニコンサート

- a 和太鼓による演奏
- b 三河万歳(下半期は計画中)

(オ) 刊行物

- a 特別展図録
- b 企画展パンフレット
- c 文書史料集成

(カ) その他

- a 見学学習
- b 職場体験学習
- c 博物館実習
- d 出前授業

オ 地域連携活動

(ア) 博物館ボランティア

- a 常設展示ガイド(随時)
- b 見学学習対応
- c 安祥文化のさとまつり
- d 研修

(イ) その他

- a 地域団体・市民講師の活用
- b 近隣施設との連携
- c 安城駅前商店街との連携
- d 近隣の教育機関との連携
- e 県内外市町村との連携

カ その他

- (ア) 国際博物館の日（5月18日）にちなんで、5月19日（日）は常設展示が無料で観覧可
- (イ) 館内案内表示・公園内案内表示・展示看板の多言語化

安城市歴史博物館特別展開催要項(案)

- 1 名称 特別展「国絵図の世界」
- 2 期間 令和6年9月28日(土)～11月10日(日) 月曜日休館、実開館日数40日
- 3 主催 安城市歴史博物館
- 4 会場 安城市歴史博物館 企画展示室
- 5 観覧料 500円(予定) 中学生以下無料

6 趣旨

徳川家康は、江戸幕府を開いた翌年の慶長9年(1604)、諸大名に「国絵図」と「郷帳」の提出を命じました。国内統治の基本である国土の把握としての国絵図作成事業は、これ以後、正保期、元禄期、天保期の4回に及びました。そして、寛永期に巡見使によって集められた国絵図を含めて、こうした国絵図をもとに日本図の作製もたびたび行われました。

民間では、江戸中期以降、木版刷りの国絵図が刊行されるようになり、多くの人々の知的好奇心を満たしてきました。

こうした今日の都道府県地図に相当する一国単位の国絵図は、その時々々の作製契機を色濃く反映したものになっています。本展では本館所蔵の三河国絵図を中心に、多彩な絵図を読み解き、その魅力に迫っていきます。

7 展示構成

第1章 江戸幕府の国絵図

秀吉に始まる近世の国郡単位の国土の掌握は、江戸時代には慶長・正保・元禄・天保の4度に渡り、国絵図作成というかたちで実施されました。この章では、三河国に関する資料を交えて、その歴史をたどります。

第2章 民衆の国絵図

江戸時代は木版印刷が盛んに行われ、庶民も物語や錦絵、絵図に親しむことができました。この章では、出版された三河国絵図を紹介します。

第3章 三河国絵図を読む

本館所蔵の三河国絵図を中心に種々の三河国絵図を比較し、その特徴を読み解いていきます。

8 関連行事

(1) 特別展記念講演会

(ア) 「国絵図から読む江戸時代」

9月29日(日)午後2時

講師: 上杉和央氏(京都府立大学准教授)

(イ) 「三河国絵図と尾張国絵図－愛知県の国絵図を知る！－」

10月12日(土)午後2時

講師: 種田祐司氏(名古屋城調査研究センター)

(2) 歴博講座

「本館所蔵の三河国絵図」

11月9日(土)午後2時

講師: 後藤麻里絵(本館学芸員)

(3) 展示解説

10月20日(日)、26日(土)、11月3日(日)

いずれも午後2時

9 印刷物

ポスター、チラシ、観覧券、図録(A4判、約80ページ)

連絡先: 安城市歴史博物館 学芸係

担当: 後藤麻里絵

〒446-0026 愛知県安城市安城町城堀30番地

電話: 0566-77-6655 FAX: 0566-77-6600

E-mail: goto-marie@city.anjo.lg.jp